

【参考様式－５】個別施設計画（橋梁）

施設名称	完成年度	管理主体	当該路線名 架橋河川（道路）名	造成事業	施設の場所	集落コード
葉柴山2号橋	昭和63年度	南部町	葉柴山1号線	農地開発 葉柴山地区	南部町大字平字葉柴山	

道路橋示方書	昭和55年度版	橋の等級（設計荷重）	1等橋（TL-20）	特記事項	－
--------	---------	------------	------------	------	---

施設概要	施設の規模	橋長（支間長）	25.3m(24.8m)		幅員（車道幅員）	5.2m(4.5m)		
	施設の構造	上部工型式	3径間単純プレテンション床版桁橋					
			鋼製（使用鋼材）	塗装使用の有無	支承形式		落橋防止の有無	
			—	—	ゴムパット		無し	
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式		不明	
	橋脚工型式	壁式橋脚		海岸からの距離		20km		
計画策定目的	農地開発：葉柴山地区によって整備され、南部町が管理している葉柴山2号橋は、現在までに35年程度が経過している。当該橋梁は葉柴山地区農地所有者の多くが利用している事から、将来にわたって安心・安全かつ快適なインフラ提供が求められている。このことから、今後も効果的かつ効率的に維持管理することを目的として、長寿命化修繕計画を策定する。							
調査結果概要	現地調査	本橋梁は建設後35年程度が経過しており、全体的に経年劣化による軽微な損傷は確認されたものの、緊急性を要する大きな損傷等は確認されず、比較的健全度が高い橋梁であった。						
	詳細調査（点検）	橋脚梁部にひび割れ（0.2mm程度）が局部的に生じていた。 地覆でひび割れ、防護柵で塗膜劣化・ボルト脱落、伸縮装置でフェイスプレートの欠損が確認された。 舗装では全体的にひび割れが生じており、路肩には土砂堆積が確認された。					判定区分	I
	劣化原因（推定）	Co部材のひび割れについては、乾燥収縮によるものと推測される。 橋面部材におけるその他の損傷については、経年劣化によるものと推測される。						
長寿命化対策概要	対策工法（案）	【老朽化対策】 ひび割れについては、断面修復を行ったうえで劣化因子侵入防止を目的とした表面保護を行うことが望ましい。 橋面舗装および伸縮装置については、部材の耐用年数および劣化程度により新設することが望ましい。 防護柵の塗膜劣化については、欠損等が生じていないことから再塗装を行うことが望ましい。						
	対策時期（案）	【老朽化対策】 現状でひび割れ周辺に損傷（うき等）は確認されなかったことから、緊急性および進行性は低いものと判断される。よって、PC部材については25年程度とする。RC部材については、PCと比較して設計基準強度が低いことからPCの半分程度とする。その他の部材（舗装・伸縮装置等）については、各部材の耐用年数を目安とするが、定期点検の健全度評価により時期を設定することが望ましい。						
	対策費用（参考）	【老朽化対策】 上部工コンクリート補修（断面修復・表面保護）：6,400千円 下部工コンクリート補修（断面修復・表面保護）：5,900千円 舗装補修（打ち換え・防水層）：3,500千円 伸縮装置（撤去新設）：9,800千円 防護柵（再塗装）：500千円						
管理方法	管理方法	老朽化対策として、定期的に点検および維持工事を適切に行うことで予防保全的に管理していくことが望ましい。						

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用（長寿命化）（百万円）										
対策費用（更新）（百万円）										
対策の内容・時期	定期点検 長寿命化修繕計画					定期点検				

長寿命化計画による効果

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○50年間で約21.0百万円のコスト縮減となる。
--